

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2024年10月1日

コルデンホフとファンティック、2024年のプレミアクラスへの挑戦を6位で終える



2024年度世界選手権モトクロス MXGP 第20戦にして最終戦は、スペインの初開催のレーストラック、コザで開催された。この週末、ファンティックは表彰台を抑えながら EMX125 のタイトルを獲得、MXGP のグレン＝コルデンホフは今シーズンを象徴するような手堅さで総合8位とまとめ上げた。

ファンティック・ファクトリーレーシング・MXGP

コザでの初開催となった記念すべき MXGP、カスティリア・ラ・マンチャは今シーズン3回目のスペインで開催される GP となったが、満員とっていい賑わいの中でのレースとなった。しかしグレン＝コルデンホフとブライアン＝ボガスにとっては、初めてのレーストラックへの対応にてこずり、いずれも計時練習ではトップ10を逃す11位と14位、という結果となってしまった。予選レースではハードパックの路面はオーバーテ

イクをむずかしくさせ、予想外の暑さとなった天候で乾燥した大地は砂埃を立ち込めさせた。コルデンホフは手堅く走って8位でレースを終え、ボガスはいつものポジション争いの中の13位となった。

日曜日のレース1、ファンティック・ファクトリーレーシング・MXGPの二人のライダーは、ともにスタートで沈むと厳しい戦いを強いられることになった。コルデンホフは順位回復に努めたものの成功したとはいいがたい11位にとどまってしまった。ボガスは混戦の中を戦い抜き、14位でフィニッシュした。レース2、「ザ・ホフ」ことコルデンホフはスタートに成功し、1周目には彼のXXF450を7位に持ち込んだ。その先もコルデンホフは厳しくアタックを続けたが、6位を走るライダーがブロックラインを徹底して守り抜かせてくれないままレースを終えることとなった。スペインでの11-7位のリザルトはこの日のレースの総合8位となったのだ。ボガスは不運なことにレース序盤に激しくクラッシュし、怪我こそ負うことはなかったものの、リタイヤに追い込まれてしまった。

年間チャンピオンシップでは、グレン=コルデンホフは並み居る世界のトップライダーに伍しての6位を堅守。ボガスはトップ10にやや及ばぬ年間11位となったものの、シーズン序盤の2戦を走れず、インドネシアでの2レースも失ったと考えると悪くはないといえるだろう。ファンティックにとって初めて参戦するMXGPプレミアクラスの結果としては、決して悪くない成果となったのだ。

だがシーズンはまだ終わりではない。来週末、コルデンホフはXXF450とともにオランダチームの代表としてイギリスで開催される第77回モトクロス・オブ・ネーションズに出場することが決まっているからだ。

グレン=コルデンホフ：この週末は最初から厳しい状態だったね。いつもの自分じゃない感じで苦しんで、全然うまく乗れていなかった。サスペンションのセットを変えてから迎えた予選ヒートではちょっとばかりよくなったけどね。でも日曜日のレースもそんな感じだった。レース1はほんとにスタートに失敗して、後ろに沈んでしまったんだ。何とかして順位を上げようと試みたんだけど、ハードパックすぎてラインが一本に絞られ、とても前に出られる状態じゃなかったよ。レース2ではスタートがなんとかうまくいって、レースの序盤には何台か抜くこともできたんだけど、結局そのあとはギロッドの後ろで抑え込まれてしまったんだ。11-7で

終えたレースでの総合8位は、もちろん望んでいた結果じゃない。この結果には本当にがっかりだけど、でもセッションごとに良くなっていたのが救いかな。ライディング自体は悪くなかったと思っているんだけど、リザルトになっていないんだ。でも、もう1レースあるし、モトクロス・オブ・ネーションズへの参加は本当にモチベーションが高まることだからね。今シーズンを気持ちよく締めくくるためにも、チーム・オランダのために全力で挑むつもりなんだ。





ブライアン=ボガース:こんなシーズンの終わりを
をするつもりはなかったんだ。レース1のスタート
ではしくじってしまったし、レース2ではクラッ
シュしてしまった。こんな終わりをするなんて情け
ないし、チャンピオンシップのポジションも後退す
ることになってしまった。とはいえ、シーズン全体
を振り返るならば、悪くなかったとっていいだろ
うね。シーズンオフ、チームとよく協働して問題点
を改善し、来年にはもっと強くなって戻ってくるよ。
そう、目にももの見せてやるさ。

ファンティック・ファクトリーレーシング・MX2

スペイン人ライダーのデビッド=ブラセラスは、ホームレースに向けて高いモチベーションで臨んでいた。チームメイト、カイ=カラセメーカーもその意気込みのままにスタートゲートから飛び出した。だが、最高の結果への望みは瞬く間に消え、二人とも第1コーナーでのクラッシュに巻き込まれる形で日曜日のゲートポジション取りをあきらめざるを得ない状況となってしまった。

レース1、カラセメーカーはミスなくレースを戦い切り、12位でフィニッシュした。レース2でも手堅い走りのまま12位となったカイは、総合も12位を確保した。一方、ブラセラスの日曜日は厳しいものとなり、いずれのレースもスタートに失敗。どちらも中盤を走りながら、運もなくマシントラブルにも見舞われてのリタイアとなってしまったのだ。

モトクロス・オブ・ヨーロッパ・ネーションズでの活躍も記憶に新しいアレクシス=フェリも、その活躍をEMX250の最終戦には持ち込めなかった。予選でも苦しみ、レース1のスタートも慎重なものとなったが、徐々にペースアップ。しかし途中でクラッシュを喫し、15位でのフィニッシュがやっとの結果となってしまった。レース2ではスタートに成功してトップ10に食い込んだが、またもクラッシュ。今度は他車にマシンが踏まれる結果となり、リタイアを余儀なくされてしまったのだ。

カイ=カラセメーカー:今週が終わって、シーズンも
終わってしまった。土曜日の予選ヒートで不運にもクラ
ッシュしてしまい、何とか最後尾から17位まで追い上
げたんだけど、スペアマシンをピットレーンに置いてし
まったペナルティも受けることになってしまったんだ。
2レースとも最外側からスタートするのは厳しくて、で
もレース1でのジャンプはうまく飛んでいたと思う
よ！リズムもつかめていて、12位になることができた
んだ。レース2のスタートはさらに厳しかったけど、ま
た12位まで順位を上げられた。まあ手堅くシーズンを
終えたって感じかな。ファンティックのみんなにはこ
の1年間のお礼を言いたいね。





デビッド=ブラセラス:なんてこった。もうほんとに、こんな終わり方はしたくなかったよ。ベストを尽くしたんだけど、こんな形でフラストレーションをためることになってしまった。特にスペインのファンの前でレースを走り切れなかったのが悔やまれるね。でもこんなにチャレンジが続く年でも応援してくれたみんなに心からのお礼を言うよ。

